

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX 049-227-3068 ホームページ <https://hatoyama.info/>

7月・8月の活動予定

■新企画「おしゃべりカフェの夕べ」7月26日(土)



当団体の事務所のある「かわせみハウス」について改めてご案内します。

この施設は2015年に開設した民間運営のコミュニティー施設です。現在

は、当団体と鳩山ニュータウン住民自治会とで構成する運営委員会が独立して運営し、その管理は当団体に委託されています。施設内には、地域活動や環境保全関係の図書のほか、作家五木寛之の全作品が揃った「かわせみ文庫」が常設され、会議室利用やコピー・ラミネートサービスも行っています。

この度、同施設主催の新企画として、隔月の第4土曜日夕方4時から6時までに、「おしゃべりカフェの夕べ」と題したイベントを開催します。5月のプレ企画では、加藤登紀子のヒット曲「百万本のバラ」の歌手7人（氷川きよし、山崎ハコ、渡辺えりほか）による歌の聴き比べをし、バルト3国リトビアの歴史にも触れました。

7月26日には、ジャズのスタンダードナンバー「ユード・ビー・ソー・ナイス・トゥ・カム・ホーム・トゥ」(英語: You'd be so nice to come home to) のカバー曲の聴き比べ(ヘレン・メリル、阿川泰子、青江三奈ほか)を予定しています。この曲にまつわる「歴史的誤訳」とか、映画『ラジオ・デイズ』(ウディ・アレン監督)でダイアン・キートンが歌っていることなど、皆さんからの蘊蓄をお聞かせいただきながらのおしゃべりタイムの夕べにぜひお越しください。参加料は300円です。

■大人のピクニック「青空ピザ窯パーティー」7月27日(日)

昨年9月の「青空ピザ窯パーティー」には鶴ヶ島市でフリースクールをやっている方々とか、東京在住の友人など17人に参加いただきましたが、今年も開催します。ピザ生地づくりからやってみたいという方はご一報ください。相談しましょう。当日、協生農法試験地を見学してもらい、ピザ窯からトラスト地の雑木林を抜けて、ハト麦栽培畑や

ウッドデッキ建設予定のある「熊井の森/自然共生ファーム」までを散策するコースにご案内します。参加費は食材実費500円。詳しくは改めてメールします。

■熊井の森/生きもの観察会 8月24日(日)

熊井の森/いきもの観察会

夜は...黒い目のカマキリを見つけてみない!?
眠っているトンボに出会ったり、
飛んでるコウモリの声も聴けるよ!

夏休みの夕方、熊井の森で生き物に出会い、
楽しい思い出をつくらう!

<定員> 30人
対象: 主に市内の小・中学生(養・保護者同伴)/高校生/大人

<申し込み方法>
事前予約
(詳細を後日連絡のため)

<参加費>
大人・高校生 1,000円
小中学生 500円

2025年8月24日(日) ※小雨決行
<集合時間> 午後4時30分~<解散> 午後7時30分
<集合場所> 上熊井集落センター(鳩山町熊井1185-1)
ちよっくまの先 黒石神社の入り口
<観察場所> 上熊井集落センターから「熊井の森」のピザ窯に至る小道と、
その周辺の辻川の用水路100m
・小学生は当日、「観察記録」台紙を配布します。夏休みの宿題として活用を!
・つかまえた虫の持ち帰りはできません

<主催> NPO法人はとやま環境フォーラム/熊井の森トラスト基金
<後援> 鳩山町教育委員会
<申込先> TEL 049-227-3001 (留守電あり) /090-6305-3302 (企画担当:瓜生)
メール hatoyama3001@gmail.com

★この事業は公益財団法人サイゼン環境保全基金の助成を受けています。

<講師> 三森典彰氏
1977年東京都生まれ。キイチボ環境トラストファーム、(株)ビオトープモデル代表者、東京環境工科大学非常勤講師、2018年度 JAPAN QUALITY LEADERS AWARD 優秀賞受賞

7月・8月 活動スケジュール

7月 4日(金)	午前9時~	ハト麦作業
6日(日)	午前8時~	資源回収
20日(日)	午前9時~	写真学校
//	午前9時半~	理事会
//	午後1時半~	観察会
26日(土)	午後4時~6時	カフェの夕べ
27日(日)	午前10時~	青空ピザ窯パーティー
8月 1日(金)	午前9時~	ハト麦作業
3日(日)	午前8時半~	資源回収
10日(日)	午後1時~	会員懇談会
17日(日)	午前9時半~	理事会
//	午後1時半~	観察会
24日(日)	午後4時半~	いきもの観察会

6月の活動報告

■写真学校 谷津田の素晴らしさを再認識 6月8日(日)

■エコフェスタ比企 園芸談義で意気投合 5月24日(土)



空はちょうどいい感じの曇り空。住民自治会のバザーや本屋・植物の鉢もの・ハトムギ粉入りのパンケーキ屋・リサイクルの店などが並び、にぎやかにスタートしました。ハトムギ粉入りパンケーキを焼き始めると、会場にプーンと香ばしい香りが広がり、お母さんと一緒に店をしている子どもさんの呼び込みの声がきこえてきました。大きな声、元気だね。

私は、自宅で育てた苗や鉢植え、ドライハーブなどを並べた園芸店を出店。もう5~6回、出店しているので、馴染みさんもでき、いろいろな会話の花がさきます。

「去年もあさがおの苗買ったよ」とか「この植物の育て方は？」という質問も数多くありますが、何度も会う方からは「この花がもともとどんな所で育っているのかを考えたらいいのよね」なんていう言葉が出てきて、ちょっと驚き。何人かで植物談義をしながら「次は、園芸懇談会をしましょう」と意気投合。(嵯峨)

■ハト麦畑で急きょマルチ張りと植付 6月6~26日



「今年の種まきは、昨年までの苗を育てて植えつけるのではなく、地面に直接種をまき栽培するという方法。初めての試みなので、ちゃんと芽が出て、しっかり育ってってくれる

のだろうか、とちょっと心配」と、前号で書きましたが、不安が的中。5月9日に撒いた500粒のうち、芽が出たのはほんの数粒でほぼ全滅状態でした。原因は不明ですが、メゲてばかりはいられません。急きょ、自宅のポットで苗育てを開始し、生育が遅れた分を取り返し畝づくりを省くため、20畝分にマルチシートを張り、6月26日に4名で育った苗100本ほどを植付けました。翌日は予報通りの雨降りですと安心。さて、どうなるか。



今年度第1回目の写真学校には町内外から16名が参加。かわせみハウスでのガイダンスの後、熊井の森石場沼流域の水田での撮影に。田んぼの持ち主への挨拶をして早速撮影開始。この流域の田んぼは水面と畦道との段差が低く、そうした環境でしか育たない、かつてはどこでも見かけたけれども、今はめったに観れない植物も観察することが出来ました。(瓜生)

■HP担当者会議で更新案まとまる 6月8日(日)

環境フォーラムのホームページの作り替えのための会議で、それぞれの意見を出し合い、更新案がまとまりました。改善点は、①トップページでコンテンツが一覧できること、②活動概要が分かる固定ページの充実、③直近のイベントや活動がすぐにわかること、④イベント参加申込み欄の新設、⑤ブログの充実などです。

現在、サーバー運営管理者に作り替えを依頼中で、8月末リニューアルオープンを目指しています。乞うご期待。

■第2回ツリーハウスづくりを楽しむ会 6月22日(日)



参加者7名。ツ

リーハウスは建築基準法では「建築物」に該当し、市街化調整区域では原則建てられないことがわかりました。そのため、将来を見据え、まずは「ウッドデッキ」

をつくることになりました。デッキの上には、ハンモックを下げたり、レジャー椅子やテーブルを置き、テントも張れるようにする。木製のおしゃれな看板も設置する。完成お披露目イベントを開催する、等を話し合い、会の名称は「熊井の森こもれび倶楽部」と改名することになりました。建築図面が仕上がり次第、3回目の会合を開き、資材の入手、加工作業、組み立て・施工を経て、年末までに完成を目標にします。今回の話し合いでまとまったことを環境フォーラムの理事会に諮り、このプロジェクトをフォーラムの事業としてもらうよう要請します。

6月の活動報告

■あんずジャムづくり 定員一杯の参加申し込み



6月14日（土）、去年に続いて、今年もあんずジャムづくりを泉井交流体験エリアと提携して開きました。参加者は12名とスタッフ4名。去年も参加されたリピーターが2名、渋谷区・宇都宮市・志木市から来られた方、地元鳩山町や近郊の方たちでした。

皆さん、あんずの魅力にひかれて参加したという感じ。3グループに分かれてジャム作りスタート。下準備をした後、歩いて5分のあんず畑へ見学に行き、あんず組合の方から、低農薬で栽培していることやあんずが数種類植わっていることなどを聞きました。

あんず畑から帰ってきて、いよいよ水があがってきて柔らかくなったあんずを煮込みました。交代で煮込むジャ



ムがプチプチ跳ねました。熱い大鍋と格闘？ 楽しんで？ もうすぐ出来上がり。軽食は、まだ温かな出来立てジャムをふわっとした食パンにのせ、パクリ。ヨーグルトにものせて。甘酸っぱいあんずが香りました。レモングラス入りの紅茶と共に。おみやげは、大きめのビン2個のあんずジャム。好評のうち、無事終了。（嵯峨）

<スタッフの感想>

「今年は2回目の、あんずジャム作りスタッフとして参加させてもらいました。みなさんでワイワイしながら、楽しくジャム作りが出来ました」（Kさん）

「限られた道具で良いジャムが出来たと思います。作業の工程で、気が付いたポイントをお話しながら進めていったので、割りとスムーズに仕上がりました。皆さんの手際が良くて、感心しました」（Mさん）



あんずジャムづくりイベント参加者アンケート結果

質問1 何で知りましたか

友人知人・2 環境フォーラム・2 ホームページ・3
ポスター・2 インスタ・1 その他・2

質問2 企画の10段階満足度（10大満足 6普通 1不満）
10段階-10 8段階-1 7段階-1

質問3 企画運営について

(1) 交通の便の説明は分かりやすかったか
はい（12名全員）

(2) 集合場所は分かりやすかったか
はい（11名） いいえ（1名）

(3) あんずジャムの説明はよかったか
はい（12名全員）

(4) 軽食はいかがでしたか
できたてあんずジャムおいしかったです。（1名）
おいしかった。（5名）

質問4 良かった点・不満だった点ご提案は

- ・販売、見学までさせていただいて、とても楽しかった。
- ・いい企画なので来年もお願いします。

- ・ジャムを作るだけでなく試食もできました。ありがとうございます。あんずの花も見てみたいですね。
- ・今日の畑では6種類のあんずが見られて良かったです。あんずジャムもとてもおいしかったです。
- ・あんず畑をはじめて見られて良かったです。
- ・あんず畑の見学が良かったです。班で協力してあんずジャムを作ったので、とても楽しかったです。
- ・あんずの畑がみれたこと。チームの方たちとのおしゃべりもよかったです。
- ・畑の見学で、あんず畑の成り立ちなど聞かせていただいて楽しかったです。
- ・あんずジャム作りは、おいしいジャムができ、調理試食、楽しくできました。農家さんのお話、見学も。
- ・いろいろな話が聞け、有意義でした。土地の名産品もっと広まると良いと思いました。
- ・あんず畑で、あんずの木の生え方など、初めて見せていただき、数種類の実も見られ感動しました。あんずジャムが甘酸っぱく、いくらでも食べられるくらいおいしかったです。楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。（アンケートにご協力、感謝）

中国名 紅竜盤柱？名前がすごい！ネジバナ



初夏ごろ、庭菖蒲が終わったら、今度はネジバナの登場です。この2種類の小花はいずれも葉っぱだけでは他の雑草と分別しにくいのですが、花が咲く途端に「わ、庭菖蒲（ネジバナ）だ！」と思わせる素敵で、かつやや神秘的な姿を見せてくれます。

実はネジバナは最も小さい、平地に咲く野生のランの1種です。その名の通りに、ねじるように上に向けて桃色の花を咲かせます（たまには白い花も）。左回りや右回りという

らせん状の巻き方や、稀にまっすぐで巻かないタイプもあるようです。

先日、狭山市の入間川河川敷になんと7000本のネジバナが咲いたという新聞記事を読んでびっくり、よくぞ本数まで数えたものだと！ 中国においては、ネジバナはたくさんの別名があり、例えば竜抱柱・紅竜盤柱・盤竜参・一線香など、いずれも迫力満点なネーミングです。命名して下さった方の想像力にはひたすら感服。

またいつもの話ですが、ネジバナの株と肉質の根は清熱解毒やめまいや糖尿病などに効くので、いずれも貴重な漢方薬です。そのせいか、一時期、取られ過ぎたためか、野生のネジバナが減り、危惧品種になり、『ワシントン条約』付録にも収録されました。

そんな貴重な植物なのに、今年我が家の庭にも初めてなんと数本も出てきました！ 草むしりの際に気を付けて傷つかないようにしています。（王 菲）

森の中へ

子タヌキが5匹、親を先頭に固まって移動する姿が..



先月号でちらっと話題にしたタヌキの夫婦ですが、実は出産していたようで、自動撮影装置に子どもたちの姿（写真中央から下への黒い影 上に夫婦タヌキ）が映っていました。

6月9日に初めて巣穴から出てきているのが記録され、5匹の子タヌキが確認できました。親を先頭に固まって移動する姿はなんとも愛らしいものです。6月11日には親に啜えられて運ばれる姿が映っていたり、同じ日には早くも獲物（鳥？）を啜えて歩く子タヌキの姿も映っていました。大分高頻度に映っているため次回の映像回収が楽しみです。観察会ではリアルタイムでカメラの映像を現地で確認することもあり、カメラの前でつろぐタヌキが見られたりしましたので、次回の観察会ではカメラの前でじゃれあう子タヌキ達が見られたりすると嬉しいですね。今後の子タヌキ達の成長が楽しみです。

さて、自動撮影装置を通して理解が深まったことが一つあります。最初に子タヌキ達が映ったのは日中でしたが、実は夜中でも同じぐらいの頻度で写っています。「タヌキは昼行性とも夜行性とも言えない」という話を、観察会でさも見てきたように言ったりするのですが、いやこれは本当だったんだあと、ものの本で読んで情報として知っているだけでなく、こうやって実際に目にすると確かな実感として納得することが出来ました。皆さんもぜひ観察会にお越しください。（愛場 結偉）

活動後記 ■ 8月2日（土）に、さいたま市産業文化センターホールで「Saitama ナショナル・トラスト市民シンポジウム2025」が開催されます。当団体にも協力要請があり、実行委員となり、当日、記念講演の後、「埼玉緑のトラスト協会」「トトロのふるさと基金」「川越蔵の会」と共に、鳩山での取り組みを報告することになりました。定員300人。参加費無料。ぜひお越しください。

集おう！貴重な自然・景観の守り人

Saitama ナショナル・トラスト市民シンポジウム2025
ナショナル・トラスト運動のさらなる進捗への新たな連携に向けて

日時 2025年8月2日（土）
13:30~16:30
会場 さいたま市産業文化センター
ホール（定員 300名）

◆記念講演◆
「自然・文化財を守る市民のチカラ
〜トラストの拓く豊かな地域の未来〜」
東京経済大学名誉教授 磯野弥生 氏

◆各地からの報告◆
公益財団法人 トトロのふるさと基金の取組
公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会の取組
NPO法人 はとやま環境フォーラムの取組
NPO法人 川越蔵の会の取組
◆フロア・ディスカッション◆

主催 Saitama ナショナル・トラスト市民シンポジウム2025実行委員会
協賛 NPO法人環境サポート埼玉
この催しは、公益財団法人 サイサマ環境保全基金の助成により実施します。

定例観察会のご案内

開催日 : 毎月第3日曜日
集合場所 : かわせみハウス前
集合時間 : 午後1時半
(終わりは午後3時過ぎごろ)

興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。鳩山ニュータウン内かわせみハウス前に午後1時半に待ち合せて、相乗りで熊井の森に向かい、帰りもご一緒できます。

はとやま環境フォーラムHP▶

